

(導入説明)

ユネスコエコパークについて

2019年2月6日

第42回MAB計画分科会

日本ユネスコ国内委員会事務局
(文部科学省国際統括官付)

制度の趣旨・発展の経緯

【1971年 ラムサール条約の採択】

1971年 ユネスコ人間と生物圏(Man and Biosphere)計画が開始

—自然及び天然資源の合理的利用と保護に関する科学的
研究を国際協力で行い、環境問題解決の科学的基礎とす
ることを目的として開始—

【1972年 世界遺産条約の採択】

1976年 MAB計画の一環として、生物圏保存地域世界ネットワーク(WNBR)が発足 =登録制度が開始

※正式名称:生物圏保存地域(Biosphere Reserves: BR)

※国内通称:ユネスコエコパーク

(2010年日本ユネスコ国内委員会MAB計画分科会決定)

※10年に1回、ユネスコへ定期報告の提出義務あり

制度の趣旨・発展の経緯

(3つの機能)

- 保存機能：景観、生態系、生物種、遺伝的**多様性の保全**
- 経済と社会の発展：社会文化的に持続可能で生態学的にも持続可能な形で
経済発展と**人づくりを促進**
- 学術的研究支援：実証プロジェクト、**環境教育・研修**、保全と持続可能な発展
に関する地元の問題、地域的問題、国内問題、世界的問題に
関する研究・調査に役立てる

(3つのゾーニングにおける対応)

- 核心地域：法律等に基づく長期的な保護、動植物相・植生等の**調査・公開**
- 緩衝地域：持続可能な発展のための地域資源を活かした**エコツーリズム、
生態系サービス等**による利用
- 移行地域：自然環境の保全と調和した**持続可能な発展のためのモデルとなる
取組**（自然の恵みを生かした特色ある**地域振興・循環型農業等**）

制度の趣旨・発展の経緯

1983年 第1回WNBR大会@ミンスク

1984年 ユネスコ総会と国連環境計画理事会において、「生物圏保存地域のための行動計画」を承認

1995年 第2回 WNBR大会@セビリア

セビリア戦略、WNBR定款が策定

2008年 第3回WNBR大会@マドリッド

BRのためのマドリッド行動計画(2008-2013)策定

2015年 MAB戦略(2015-2025)策定

2016年 第4回 WNBR大会@リマ

リマ行動計画(2016-2025)策定

※下線部分は、MAB計画国際調整理事会(政府間委員会)にて採択

制度の趣旨・発展の経緯

ユネスコにおける考え方の変遷

○保全から持続可能な発展へ（重点が変化）

→移行地域が不可欠に

→人と自然の共生モデル（模範）～守りながら活かす～

○SDGsへのユネスコの貢献

- 「ユネスコエコパーク（生物圏保存地域）」はSDGsのモデルサイトとして、更なる取組を推進
- SDGsにおいては、複数の課題の統合的な課題に取り組むことになる。したがって、多様なステークホルダーが参画するアプローチが不可欠

自然環境・地域資源をよりどころにした
人々の暮らしと文化に焦点

【参考】その他のユネスコ登録制度との比較

	世界自然遺産	ユネスコエコパーク	ユネスコ世界ジオパーク
目的	顕著な普遍的価値を有する自然地域を、人類全体の遺産として、保護・保存	<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性の保全 ・人間と生物圏の間でバランスがとれた関係構築を促進・実証 ・持続可能な発展と調和を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> ・重要な地形・地質学的遺産の保護 ・社会、経済、文化の持続的な発展
主眼	自然の記念物	生態系	地質・地形
開始年	1972年	1976年 (MAB計画の開始は1971年)	2015年 (ユネスコ公式事業化前、2004年に開始)
登録数	209地域	686地域	140地域
法的枠組	条約	ユネスコ公式プログラム	ユネスコ公式プログラム
承認機関	世界遺産委員会 (ユネスコ政府間委員会)	ユネスコMAB国際調整理事会 (ユネスコ政府間委員会)	ユネスコ執行委員会 (ユネスコ執行国による委員会)

日本のユネスコエコパーク

日本のユネスコエコパークの核心地域や緩衝地域は、**国立・国定公園**や**国有林の保護林**として**保全**されている。

1980年（昭和55年）登録 「志賀高原」（長野県、群馬県）、「白山」（富山県、石川県、福井県、岐阜県）
「大台ヶ原・大峯山・大杉谷」（奈良県、三重県）
「屋久島・口永良部島」（鹿児島県）

2012年（平成24年）登録 「綾」（宮崎県）

2014年（平成26年）登録 「只見」（福島県）、「南アルプス」（山梨県、長野県、静岡県）

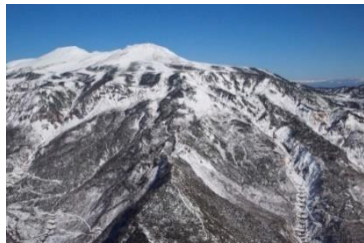
2017年（平成29年）登録 「祖母・傾・大崩」（宮崎県、大分県）、「みなかみ」（群馬県、新潟県）

世界での認定総数は、122か国、686地域（2018年（平成30年）8月現在）。

日本国内のユネスコエコパーク（9か所）



白山火山(©白山市)



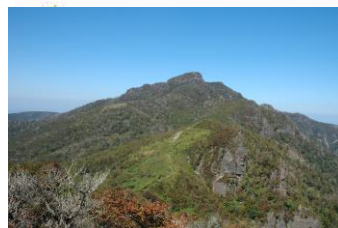
縄文杉(©屋久島町)



照葉樹林(©綾町)



祖母山(©高野弘之)



大杉谷峡谷シシ淵(©大台町)



甲斐駒ヶ岳と水田(©南アルプス市)



ブナ天然林(©只見町)



志賀高原(©山ノ内町)



利根川のラフティング(©みなかみ町)

日本におけるユネスコエコパーク推進体制

